

今週のメニュー

■トピックス

◇東北で樹脂サッシ、樹脂サイディングを紹介

■編集後記

■トピックス

◇東北で樹脂サッシ、樹脂サイディングを紹介

10月8日(木) マリオス盛岡地域交流センター(岩手県/盛岡市)、10月9日(金) 郡山地域職業訓練センター(福島県/郡山市)において日本住宅新聞社主催による「2020年に向けた省エネ・販売促進セミナー」が開催され、樹脂サッシ、樹脂サイディングの紹介を行いました。

盛岡会場が50名、郡山会場が40名と両会場とも地元工務店の方を中心に多くの方が参加され、盛況の内に終了しましたので概要をご紹介します。

ご存知の方も多いと思いますが、住宅の省エネルギー基準は随分と以前からあるのですが義務化ではなかった為になかなか浸透しませんでした。エネルギー問題や温暖化問題への対応が急務となったことから国は省エネルギー基準を改定し2020年に義務化することとしました。残された時間は5年弱で現在、工務店の皆さんは新しい省エネルギー基準の住宅造りに関する情報収集の最中で、今回のセミナーはその一助になったのではないかと思います。

また、日本は人口減少のトレンドに入り年間の住宅着工件数が100万戸を超える時代は過ぎ去り近年は80万戸程度の市場となってきています。近い将来には更に減少するという見方が多く、工務店の皆さんは新築住宅ばかりでなく改修工事も積極的に手掛けて行く必要がでてきています。市場環境が厳しくなる状況の中で、今後、地場の工務店の皆さんが引続き地元で仕事を続けていくためには他社との差別化ということが大きな課題であり、パネルディスカッションではこの点を中心に意見が交わされました。

以下、概要をご紹介します。

近畿大学の岩前篤教授からは「省エネ健康リフォーム」を演題にご講演がありました。古来言われてきた「家作りは夏を旨とすべし」は過去の話で、現在は冬場に亡くなるリスクの方がはるかに高く、当然、家造りも冬を中心に考えるべきで住宅の断熱・気密は高齢化社会を迎える日本では必須。多くの疾病は温度との係わりが深いことをより多くの人に知ってもらう必要があり、住宅を供給する工務店の皆さんにも健康と住宅という観点から高性能な家造りを手掛けて欲しい。との話でした。



盛岡セミナー (10/8)

親和創建の大滝先生からは「お客様に喜んでもらえる家造り」を演題にご講演がありました。大滝先生は山形県/鶴岡市にある工務店に勤務、古くから樹脂サッシ、樹脂サイディングを採用しメンテナンスが楽で高性能な住宅を提供することにより他社との差別化をはかっていることなど、ご自宅の建築の経験から主婦目線によるお客様の立場に立った家造りを手掛けてこられており地元でも有数の工務店として活躍されており、その一端のご紹介がありました。



郡山セミナー (10/9)

パネルディスカッションは日本住宅新聞社の茂泉社長のコーディネートにより「今後、工務店が他社との差別化を図り、より多くの受注を取っていくためには」をテーマに前出の岩前先生、大滝先生に加え、樹脂サッシメーカーのLIXIL、樹脂サイディングメーカーのゼオン化成が加わり活発な意見交換が行われました。

省エネで健康な住宅や他社との差別化のための商材の一例ということで樹脂サッシ、樹脂サイディングの紹介の時間を頂きました。

岩前先生から「日本の住宅の温熱環境は欧米に比べると貧弱。日本人の寿命は男女ともに世界のトップレベルだが、健康寿命は必ずしもトップレベルとは言えず何らかの疾患を持って生きている人が多い。健康に生きるためには住宅の温熱環境が非常に重要」とのお話がありましたが、これは工務店の皆さんだけでなく国民一人ひとりが同じ意識を持つことが非常に大事であることを改めて認識するとともに、「家と健康」に関して多くのデータで学ぶことができたセミナーでした。

■ 編集後記

秋の気配を感じ始めた先日、夫婦で都内の公園に出かけました。入場料金を払う際、「シニアですか？」の質問に、躊躇なく「はい」と答えてしまいました。前日、シニア割引で映画を観たばかりだったため、「はい」との返事が鸚鵡返しに出してしまったわけです。料金を払って上に掲げてある料金表をみたら、「シニア (65 歳以上)」とありました。得をしたというより、今度は、正規の料金で訪れなければと思いながら後ろめたい感じで公園を見て回りました。(HI)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)、[メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp

